

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金使途状況

No.	事業名	事業概要等	事業費	臨時交付金充当額	効果検証	所管課
1	救急隊装備品等購入事業	感染防御ガウン、N95マスク、ゴーグル等の救急隊装備品を整備し、救急活動時における感染リスクの低減を図った。	989,010	989,010	救急活動時における感染症対策を適切に行うことができた。	総務課
2	感染症対策物資等備蓄倉庫整備事業（R3）	増加した感染予防物品を備蓄するための倉庫を整備した。	3,500,000	3,500,000	感染症対策の物資等を備蓄する倉庫を設置することにより、災害・感染症に係る緊急事態においても、事業継続のための体制を構築することができた。	総務課
3	町内施設等感染予防対策事業（R3-1）	放課後居場所づくり事業で使用するトイレを分散使用できるよう改修し、感染リスクの低減を図った。	5,124,900	5,124,900	トイレの改修により衛生化、混雑緩和を図ることができ、感染拡大防止が図られた。	教育委員会
4	生活支援給付金事業（R3）	コロナ禍において感染予防のための生活物品等の購入などが家計を圧迫していることに鑑みて、高齢者、障がい者及び子育て世帯を対象に世帯員一人当たり10,000円を給付した。	20,820,000	19,900,000	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、現金を給付することで日常生活における経済的・精神的な負担を軽減した。	総務課
5	消防・救急指令室移設事業	役場宿直室を救急指令室を兼ねる形で役場宿直者と救急隊員が勤務していたが、救急指令室を移設することで分散勤務を可能とし、感染リスクの低減を図った。	965,220	965,220	救急指令室を移設することで分散勤務を可能とし、感染リスクの低減を図ることができた。	総務課
6	選挙に係る感染予防対策事業	投票用紙交付機、飛沫防止パーテーション、サーマルカメラ、加湿器等を整備し、投票所内における感染リスクの低減を図った。	3,189,212	3,189,212	各種備品の整備によりコロナ禍において感染予防対策を講じた投票所運営を実施することができた。	総務課
7	町内施設等感染予防対策事業（R3-2）	太地こども園の足洗い場について、密を避けることができるよう改修した。	620,400	620,400	足洗い場の増設により、園児や職員の三蜜の解消が図られた。	教育委員会
8	観光マーケティング事業	コロナ禍において観光形態が大きく変わりつつある中、アフターコロナを見据え、観光客の移動手段や動き方などを調査分析した。	1,969,000	1,969,000	IoT機器を活用することにより非接触の調査を実施することができ、人流データを分析することができた。	産業建設課
9	町内施設等感染予防対策事業（R3-3）	サーマルカメラ、パーテーションを整備することで、地域福祉センター桝における感染リスクの低減を図った。	650,892	650,892	施設利用者等の飛沫感染防止対策を講じることができた。	住民福祉課
10	海水浴場実施に伴う感染予防対策	消毒液噴霧器、サーマルカメラ、体温計等の物品の整備、密を避けるための簡易シャワー室の整備をすることで、海水浴場における感染リスクの低減を図った。	1,292,668	1,292,668	不特定多数が訪れる海水浴場において、お客様が安心して訪れることのできる環境を整備できた。	産業建設課
11	不登校児童支援学級教育環境整備事業	小中学校の各教室においてWEB授業を可能とする環境を整備し、感染リスクの低減を図ったが、未整備であった不登校児童支援学級においてもWEBによる学習指導や面談ができるよう環境の整備を図った。	101,134	101,134	インターネット環境の整備により不登校児童支援学級において学級と家庭間にて、WEBによる学習指導や面談ができるようになった。	教育委員会
12	町内施設等感染予防対策事業（R3-4）	サーマルカメラ、空気清浄機を整備することで、社会教育施設における感染リスクの低減を図った。	810,000	810,000	施設内における感染症の集団感染を防ぐことができた。	教育委員会
13	町内施設等感染予防対策事業（R3-5）	放課後居場所づくり事業で使用する絵本等アルコール消毒が困難なものの消毒を行うため紫外線式滅菌機器を購入し、感染リスクの低減を図った。	491,700	491,700	機器導入により施設利用者に対する感染予防対策を講じることができた。	教育委員会
14	町内施設等感染予防対策事業（R3-6）	役場宿直室から救急指令室を移設したが、分散勤務上、支障となるため、救急指令室にトイレを整備した。	1,188,000	1,188,000	宿直時に救急指令室から庁舎トイレに移動し、トイレを使用していたが、新たなトイレを整備により移動する必要がなくなり、他の職員との接触を低減することができた。	総務課
15	太地町立くじらの博物館特別会計繰出（R3-1）	博物館内における感染リスクの低減を図るため、動線規制用ガイドポール、サーマルカメラ、パーテーション等の物品を整備し、WEB会議を実施するための環境整備を行った。	1,297,496	1,297,496	不特定多数が訪れる博物館において、お客様が安心して訪れることのできる環境を整備できた。	くじらの博物館
16	太地町立くじらの博物館特別会計繰出（R3-2）	地域の観光の中核を担う施設であるくじらの博物館において、入館者に売店等で使用できるクーポン券を発券し、消費喚起を促すことで、コロナ禍における地域産業の振興を図った。	5,045,375	5,045,375	クーポン券配布により地域の事業者が生産するお土産等の売り上げが上がり、コロナ禍において地域産業の振興を図ることができた。	くじらの博物館
17	職員等感染予防対策事業	抗原検査を実施するためのキットを整備し、感染リスクの低減を図った。	1,021,900	1,021,900	不特定多数と接触の機会がある役場窓口や包括支援センター職員などの抗原検査の実施により、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図ることができた。	総務課
18	町内施設等感染予防対策事業（R3-7）	空気清浄機を整備することで、役場等の町施設における感染リスクの低減を図った。	4,220,040	4,220,040	備品の整備により施設内における感染症の集団感染を防ぐことができた。	総務課
19	町内施設等感染予防対策事業（R3-8）	納税通知書などの役場から発送する文書を多人数により準備しているため、自動丁合機を整備し、文書に触れる機会を減らすことで、感染リスクの低減を図った。	556,600	556,600	機器導入により少人数での作業が可能となり、職員間の感染リスクの低減を図ることができた。	総務課
合 計			53,853,547	52,933,547		